

下妻市を大きくPR 「しもつま砂沼フェスティバル2014」に2万4千人



市内で人気の飲食店や老舗商店、商店会、県産品の販売業者など29の商工業者が出店。下妻の美味しい料理やお得な商品、特産品・工芸品などが販売・PRされ、人気店には長蛇の列ができました。ここで見つけたお気に入りのお店は、市内の実店舗を訪れてショッピングや食事を楽しむことができます。

下妻市の秋の一大イベント「第24回しもつま砂沼フェスティバル2014」が10月18日(土)・19日(日)の両日、「第27回砂沼フレンドリーフェスティバル」が10月19日(日)に砂沼サンビッチで開催され、市内外から2万4千人が訪れました。少子長寿社会の現在、都市間競争が活発化しており、多くの市町村がシテイセールスに取り組んでいます。このような一大イベントで下妻市を積極的にPRできることは、まちの認知度やイメージを高めるチャンスです。今回は、下妻の魅力をもっとPRする視点から長年実施されてきた「しもつま砂沼フェスティバル」について紹介します。

下妻市はこれまで、水と緑に恵まれた自然環境の中、農・工・商の調和のとれた生産都市として発展してきました。しかし、少子長寿社会に伴う経済規模の縮小予測など、社会経済は急激に変化しており、今後の本市の市民生活や生産活動に大きな影響を及ぼすものと考えられます。このような厳しい環境の中、本市の魅力や個性を積極的にPRし、国内外に売り込む「シテイセールス」に取り組むことで、本市の認知度やイメージを高めたいと考えています。市ではイベント開催はもちろ

ん、市民の皆さんに活力が生まれるような事業を展開しながら「下妻市の魅力」を、さらに効果的、戦略的に情報を発信すること、より多くの皆さんに本市に訪れたら定住していただきたいと考えています。市民の皆さん一人ひとりが「下妻市の広報マン」として、それぞれの立場で「シテイセールス」を行っていただくことで、多くの人が訪れ、活気あふれるまちづくりにつながります。その一環が「しもつま砂沼フェスティバル」であり、120ブースで「下妻市の魅力」をアピールしました。

観

下妻市制施行60周年記念 陸上自衛隊 中央音楽隊演奏会

下妻市制施行60周年を記念して「陸上自衛隊中央音楽隊演奏会」が特別に行われ、関東一円から多くの人々が下妻市を訪れました。陸上自衛隊中央音楽隊は、国賓・公賓等の歓迎行事における演奏や、国家的行事のほか定期演奏会などを行っている日本を代表する吹奏楽団です。演奏会では、「日本民謡メドレー」や、いま子どもたちの話題となっている妖怪ウォッチ「ようかい体操第一」、アナと雪の女王「レット・イット・ゴー」など、子どもから大人まで楽しめる曲が演奏され、会場からは惜しみない拍手が送られていました。



農

農畜産まつり

豊かな大地と水に恵まれた「下妻」は、おいしさあふれる良質な食材の宝庫です。「梨」「ローズポーク」など下妻産の農畜産物を試食でPRしました。地元の採れたて新鮮野菜や果物、特産加工品のハム・ソーセージなどが並べられた各ブースには、朝から多くの人々が買い物に訪れました。



挑

消費者行政活性化社会実験事業 チャレンジショップ(下妻中学校)

体験から職業人の困難や責任、やりがいを学ぼうと下妻中学校の1年生が6つの飲食店を出店しました。揚げパンや焼きそば、チャーハン、豚丼など、食材に茨城県産のローズポークを使用するなど地産地消に努め、会社経営にチャレンジしました。生徒たちが協力して調理し、元気な声でPR・販売する姿は活気にあふれ、来客者の人気を集めていました。



ロリータファッション試着体験

平成16年の映画「下妻物語」の公開をきっかけに、多くのロリータ・ファッションのファンが、ロケ地巡礼として下妻市に足を運ぶようになりました。このロリータ・ファンをまちおこしにつなげようと、市内の若者たちが「ロリータの聖地下妻プロジェクト委員会」を設立。下妻市にしかできないアイデアでPRしています。



今井 花澄ちゃん
(桜川市・小学5年)

ロリータファッション体験

「ロリータファッションを初めて着て、お嬢様気分になりました。下妻物語を見たことがあって、自分で持っているモデルゲームでもロリータの格好があるので以前から着てみたかった。実際に着ることができてうれしいです」

陸上自衛隊 中央音楽隊演奏会



小島 紀男さん
ヨリ子さん
(結城市)

「民謡の演奏や、いま流行の『妖怪ウォッチ』をダンス付きでやってくれて、子どもから大人まで皆が楽しめる演奏とても良かった。中央音楽隊の演奏はなかなか聴くことができないので、しもつま砂沼フェスティバルに来て本当に良かったと思っています」

エコ石鹸作り体験コーナー



堀越 みどりさん
風花ちゃん
(下妻丁・新町)

「使い終わった油でも捨てずに、また生かせることがあるのを知りました。二人で作ったエコ石鹸は、靴下洗いに使いたいと思います」

食育体験コーナー



野澤 紀子さん
里咲ちゃん・颯仁くん
(下妻丁・新町)

「1日の野菜摂取目安量350グラム」が実際にどれくらいなのか体験してみても多いと感じました。野菜350グラムを毎日摂り続けるのは大変だと思いますが、これから少しでも350グラムの野菜を摂るように努力していきます」